

ANNUAL REPORT 2023-24



月に一度のコミュニティカフェから始まった居場所づくりは、現在では、毎週土曜日や長期休み中の朝食支援、第三土曜日の子ども食堂、第四金曜日のコミュニティカフェなど、多様な家庭の子どもたちに合わせた形で広がりを見せています。

こうした活動を通じて、子どもたちと地域、行政職員、他団体との信頼関係が築かれ、様々な課題の解決や新たな支援につなげることができました。一方で、もう一步踏み込んだ支援として、子どもたちの心を支えるためには、家族全体を支える重層的な家庭支援の必要性も感じています。

現在は、行政・社会福祉協議会・児童相談所・企業とともに、2か月に1度の会議を継続し、生活困窮者支援や子ども食堂への安定的な食材供給、通報案件から地域へ戻るための食支援の方法、自立支援やフードロスの活用など、様々な視点から検討を重ねています。その中で、広域的な支援が可能な拠点として「フードバンク葵」を立ち上げました。フードバンクは、平時の支援に加え、災害時にも子どもやその家族を支えるための要となることを目指しています。

皆さまからお寄せいただいた“志金”は、今後も子どもたちの心と身体を守る活動に大切に活用させていただきます。引き続き、あたたかいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

ごあいさつ

事業報告

(2023年10月～2024年9月)

放課後等デイサービス

本人を取り巻く環境に目を向け、課題の早期発見と対応に努めてきました。関係機関との連携もより密になり、支援の幅が広がってきたと感じています。活動全体を一人で完結し、生活に必要な力の獲得を目指す「いちほし」、生活リズムの安定と適切な対人関係の習得を図る「いちほしアトラス」と、2拠点でのサービスも定着し、それぞれの特色がより明確になってきました。



緊急的総合支援

昨年度は地域での緊急対応が増え、現場へ駆けつける機会が多くなりました。あわせて、定期的なケース会議や学校訪問、保護者会への参加も増加し、多方面との連携体制をより整えていく必要性を強く感じています。他市・他県の子どもの関わりも増え、行政や関係機関との連携、相談件数も年々増加しています。今後も一つひとつの対応を丁寧に積み重ねていきます。

相談支援

相談支援事業では、子どもから高齢者まで幅広い年代の方の相談を受けており、関係機関との連携により支援へとつながるケースが増えてきました。

今後も一人では抱えず、地域や関係機関と連携しながら、必要な支援へとつなげていけるよう取り組んでいきます。

子ども食堂・フードパントリー

昨年度は、子どもたちの安心できる居場所づくりに取り組むとともに、参加する子どもたちが自らより良い行動を選べるよう、日々働きかけを行ってきました。

子どもたちの成長により、責任を持って行動できる姿も多く見られるようになりました。企業の皆さまからは、バス旅行や食事会、美術館見学など、様々な体験の機会を提供いただきました。



「フードパントリーから見たこと」

昨年度も引き続き、岡崎市の市営団地にて子ども食堂とフードパントリーを実施しました。その中で見えてきたのは、生活に困難を抱える方が地域に多く暮らしているにもかかわらず、なかなか支援の手が届きにくい現状です。

そこで私たちは、食の提供を通じて人とつながり、共に食事をすることで、支援が必要な方を見出し、行政の相談窓口へつなぐ取り組みを進めてきました。食を通じたセーフティネットの構築を目指し、岡崎市、岡崎市社会福祉協議会、西三河児童・家庭支援センター、地域包括支援センターと連携しながら、相談、生活支援、就労・自立支援へとつなぐ活動を行っています。

活動計算書

(2023年10月1日～2024年9月30日まで)

(単位：円)

		科 目	今 期
収入	放課後等デイサービス	受取寄付金	339,896
		受取助成金	1,063,500
		障害児通所支援収益	1,193,709
		事業収益	34,250,163
	相談支援	事業収益	1,569,641
	その他事業	受け取寄付金	5,316,548
		受け取助成金	2,622,422
		その他収益	2,762
経常収益計		46,358,641	
支出	放課後等デイサービス	人件費	21,448,975
		その他の経費	7,567,849
	相談支援	人件費	639,600
		その他の経費	1,271,9420
	その他事業	人件費	0
		その他の経費	4,317,075
	事業費計【A】		35,245,441
	管理費	1) 人件費	0
		2) その他の経費	9,100,193
	管理費合計【B】		9,100,193
経常費用計(【A】+【B】)		44,345,634	
当期経常増減額		2,013,007	
当期正味財産増減額		2,012,996	
前期繰越正味財産額		42,881,945	
次期繰超正味財産額		44,894,941	

*詳細はいちNPO交流プラザのホームページにてご確認ください。

収入

寄付金・助成金あわせて約840万円、事業収益は約3,590万円となり、総収入は4,635万円を超えました。地域の皆さまのご支援に深く感謝申し上げます。今後も安定した運営と支援体制の充実に努めてまいります。

支出

主に人件費と事業運営にかかる経費で構成されています。特に放課後等デイサービスに多くの資源を投入し、質の高い支援体制を維持しています。今後も適正かつ透明性の高い運営を徹底してまいります。

来期に向けて

来期は、より一層きめ細かな支援の実現と地域ニーズへの柔軟な対応を目指し、サービスの質と体制の強化に取り組んでまいります。持続可能で信頼される福祉のかたちを築くため、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

数字で見る 葵 風



食 支 援

236回

子ども食堂

開催 12回

参加者
(延べ) 391人



子どもの緊急保護日数

254日 (2人)

要見守り児童

18人

※児童相談所と相談しながら見守っている子どもたち



寄 付 者

123人

支援者(物品)

404人

研修会実施

(内外含め) 46回

2025年活動計画

(2024年10月～2025年9月)

① 放課後等デイサービス

北辰会いちほし 北辰会いちほし アトラス 北辰会みつほし

2025年は、施設開所から10周年の節目となります。支援の定着、家族との関わり、関係機関との連携など、目指してきたことが一定の形になってきたと感じています。今後は、私たちだけで課題を抱えるのではなく、状況に応じて適切な支援へつなげていけるよう取り組んでいきます。

② 緊急的総合支援

食支援やフードバンクと連携した訪問や見守り支援は、今後さらに増えていくと見込まれます。また、中高生や学校を辞めた子どもへの相談支援、兄弟や家庭を含む重層的な支援にも取り組みます。

③ よろず相談

北辰会ななほし

これまで関わってきた子どもや保護者に加え、対象の多年齢化や課題の複雑化により、関係機関との連携の重要性が高まっていると感じています。今後も、支援がつながり、一人でも多くの方の力になれるよう努めていきます。

④ 子ども食堂

いちほし小町 トレジャーセブン

昨年度は、子どもたちが責任を持って役割を果たす姿が多く見られました。企業の皆さまからも体験の機会をいただき、多様な経験を重ねることができました。今年度は、自立を目指す子どもたちが、他者とかかわり、コミュニティの一員として人間関係を築けるよう支援していきます。

ぜひ寄付で
応援して
ください！

葵風を 応援

子どもたちの明るい未来を
一緒につくっていきませんか？

当団体は認定NPO法人ですので、
税制優遇が受けられます。

継続寄付

継続的な
応援はこちら



毎月 **500円／1,000円／5,000円／10,000円**
から選べます。

- (1) 葵風へ現金をご持参いただく
- (2) 郵便振替での入金 ※「払込取扱票」が必要な方はご連絡下さい。

単発寄付

今回のみの
応援はこちら

【ゆうちょ銀行からのお振込み】

記号番号 12030-17326081 トク)アノカセ

【他銀行からのお振込み】

店名 二〇八 店番：208 普通預金 1732608

- (3) シンカプル(クレジットカード)での入金



物品寄付

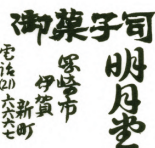


amazon **ほしいもののリスト**に、
現在募集しているものを掲載しています。

食品寄付

賞味期限が2か月以上ある食品を募集しています。

〔ご協賛の皆様〕



有限会社八百英

葵コンサルタント株式会社

ワークショップコンドー



こども☆横丁
プロジェクト

岡崎市東蔵前火打山52

岡崎市河原町13番地2

岡崎市岩津町字川畔49番地1

遊友会

岩津商工発展会事業に基づき
地域の発展にむけた積極的な
貢献活動を行っています



認定NPO法人
葵風



住 所：〒444-0075 愛知県岡崎市伊賀町7丁目106

T E L：0564-84-5261 F A X：0564-84-5271

メール：hokushinkai.ichihoshi12@gmail.com

H P：https://ainokaze.or.jp